

きれいな大気を求めて： セラミストのチャレンジ

日本は、1950年代以降に深刻な大気公害問題に直面し、多くの被害が生じた。その解決に向けた努力は実りつつあるが、地球温暖化の対策には多くの問題が残されている。加えて、工業化が急速に進み、かつ車社会に突入している国では問題はより深刻な状況にあり、国内のみならず、グローバルな視点での対応や国際協力が重要になっている。

報道にもあるように、中国国内の排ガス、PM濃度は高く、高校生の時に我が国の環境汚染を懸念して演者が化学を専攻することを決めたように、環境改善についての中国の若者の関心は高い。中国政府も、最近、工場、車等からの大気汚染物質の規制を強化してきている。また、国策として、電気自動車の推進、太陽電池、風車などの再生エネルギー発電体制の強化などによるエネルギーシステムの展開も急である。

本講演では、大気環境改善にむけた多くの取り組みのうち、大気汚染、地球温暖化の元凶の排ガスの一種である窒素酸化物（NOx）浄化用触媒、水の電気分解によるクリーンな水素製造システム、エネルギー貯蔵・変換用として重要な電池材料についての上海交通大学平野材料創新研究所の成果の一部を専門でない方にとってもわかりやすく紹介する。

第5回「名大上海講壇」

講師：平野 眞一 教授

(Dr. Shin-ichi HIRANO)

上海交通大学 致遠講席教授・学長特別顧問・
平野材料創新研究所長
(名古屋大学名誉教授・元総長、
大学改革支援・学位授与機構名誉教授・
顧問・元機構長)



日時：2017年11月19日（日）
10:00～11:00（講座）
11:00～11:30（質疑応答）
11:30～（懇談会）

場所：淮海西路55号申通信息広場27階D座
名古屋大学中国交流センター
(地下鉄10号線、11号線交通大学駅4番出口)